

仲間が増えてくると、嬉しいですね。

新規作物に

取り組んだきっかけ

稲作を主体に栽培していますが、スナップエンドウをJAの担当職員から熱心に勧められて「じゃあ挑戦してみようか」と思い始めました。年齢を重ねても栽培しやすく、何より自分が好きな野菜は作りがいがあると感じています。以前はこの畑で山菜をやっている、そのときの経験が今に役立っている気がします。

栽培を続けてきて

スナップエンドウの栽培に取り組んで3年目。去年は豊作で、スナップエンドウの背丈もすごく伸びました。3年目でもまだ防除や追肥のタイミングは難しいと感じ

ます。わからないときや迷ったときはJAに相談していて、ここがJA職員の営農指導の頑張りどころかなって思いますね。同時に、ここまで成長できているのはJAの担当職員のおかげだと思っています。

堆肥は、粃殻に畜産農家から譲り受けた牛ふんと枝豆の殻を混ぜて作る自家製のを畑に使っています。野菜に甘みが出て、自分で作った堆肥で自分の野菜を育てることはいいなと思いますね。

これからについて

担い手不足を感じているなか、今年もスナップエンドウに新しく取り組み始めた人たちがいます。これからも仲間が増えてくれたら、やっぱり嬉しいなと感じますね。

スナップエンドウ

JAの推奨作物のひとつである「スナップエンドウ」。春作と秋作があり、春作の露地物の出荷は6月より始まっています。全農あきたを經由して県外市場を中心に出荷されているほか、直売所「いぶきの里」「あぐりんなかいち」等で販売されています。



真面目で観察力があると、とても向いていると思います。スナップエンドウは軽量野菜なので、幅広い年齢層の人が栽培に取り組むことができますよ。

